

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 11 日 (2013.7.11)

【公開番号】特開 2009-219902 (P2009-219902A)
 【公開日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-039
 【出願番号】特願 2009-159646 (P2009-159646)
 【国際特許分類】

A 6 1 C 17/22 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 13/02 7 0 0

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成 25 年 5 月 24 日 (2013.5.24)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 5
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 5】

ブラシヘッドは、旋回する房を含んでいてもよい。例えば、図 2 に示されているブラシ 5 0 は、複数の固定された房 5 2 及び複数の旋回する房 5 4 を有するヘッド 5 1 を含んでいる。房は、上記で説明した輪郭と似た輪郭を示すように配置されている。旋回する房を提供する技術は、米国特許第 6, 5 5 3, 6 0 4 号に説明されており、その開示は参照として本願に組み込まれる。旋回機能の一つのタイプは、弾性素子を旋回させるという状況で図 3 によって示されている。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 6
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 6】

ブラシヘッドは、さらに弾性素子を追加又は毛の房の代わりに有することができる。例えば、図 3 及び 3 A に示しているように、歯ブラシ 1 0 0 は、弾性フィン 1 0 2 及び毛 1 0 4 を含んでおり、上記で説明した輪郭を示すように配置されている。弾性素子は、2 0 0 3 年 3 月 1 4 日出願の米国特許番号第 1 0 / 3 8 9, 4 4 8 に説明されているように、隣接歯間領域を洗浄及びマッサージするために、隣接歯間挿入用にサイズされている。図 3 乃至 3 B によって表されている実施例では、弾性フィン、旋回可能に取り付けられている。しかしながら、弾性素子は、所望される場合、固定されていてもよく、毛の房は、固定又は旋回していてもよい。